

特に御議論いただきたい論点

1 特許庁を取り巻く現状 —産業構造の変化と特許出願の動向—

- 産業構造の変化・イノベーション戦略の変化は出願構造にどのような変化をもたらしたか
- 日本特許庁への出願が増加しないのはなぜか
- 欧米と比較して、日本企業による4庁（米欧中韓）以外への出願が少ないのはなぜか
- 欧米と比較して、国外からの出願件数の伸びが低いのはなぜか

2 特許、意匠、商標、審判の現状と取組

- 特許審査、意匠審査、商標審査、審判の現状に対する評価・ご要望

3 近年の主要な取組

- 特許庁の近年の取組と、今後の方向性に対するご要望

4 コロナ禍の影響 —足下の対応と新たな日常への対応—

- コロナ禍で顕在化した課題（レジリエントな業務体制の構築、手続きのオンライン化、柔軟な救済措置の整備など）への対応に対するご要望
- イノベーション促進に向けた、ポスト/ウィズコロナ時代の産業財産権制度への期待とご要望

5 特許庁の財政状況とこれからコロナ禍の影響 —現状認識と今後の論点—

- 特許庁の財政の現状に対する評価・ご要望
- 今後の特許庁に求められること